

2・3P

レポート・論文作成に役立つ 図書館の使いかた

論文のテーマ設定から執筆・完成までの
その時々における図書館サービスの基本について
一覧図にまとめました

- 4 P 一冊の本（オスラー『平静の心 - オスラー博士講演集』）
- 5 P 大型コレクション『The Straits Times』
- 6 P KURENAIコンテンツ紹介
- 7 P 図書館・室紹介（原子炉実験所図書室）
- 8～11 P 京都大学図書館統計
- 12 P 図書館・室からのお知らせ

レポート・論文作成に役立つ 図書館の使いかた

0~1. 京都大学の図書館 <http://www.kulib.kyoto-u.ac.jp/>

図書館・室一覧

開館日程

調べ方で分からないことがあれば、図書館の人に聞いてみよう

京都大学には、学部や研究所など合わせて50を超える図書館・室があります。複数の図書館・室を使いこなせば、様々な資料を目にすることができ、沢山の本が借りられます。利用方法については、各図書館・室一覧でご確認下さい。

これを活用！ レファレンスガイド

DBの使い方や資料別の探し方を掲載

Kyoto University Libraries ■ 文献収集の基礎
～論文・レポートを書

http://www.kulib.kyoto-u.ac.jp/modules/refguide/index.php?content_id=22



0. 着想



1. テーマを選ぶ



2. 資料を探す

2-1: 図書/雑誌を探すには

京都大学蔵書検索KULINE(クライン)

<https://op.kulib.kyoto-u.ac.jp/webopac/>

京都大学の全ての図書館・室に所蔵されている図書や雑誌が検索出来ます。

*電子ブックも検索出来ます。

*論文タイトルは検索出来ません。☞ 2-2

*学内にない場合、他大学図書館にあるかどうか調べられます。

*古典籍資料の中には、検索出来ないものもあります。その際は附属図書館カード目録を検索して下さい。

検索のコツ

単語を区切って入力する
ex. 地域(スペース)環境
演算子など
ex. 地域+環境、地域^環境
ex. 前方一致 Appl* Phys*
ex. 完全一致 #Nature
書誌事項の確認をする
ex. 洋雑誌ではタイトル等が短縮
されることがあります
ex. 'lbid.,p.34-45.' のlbid.は誌名ではなく「同前」の意味です

さらに便利に使うには

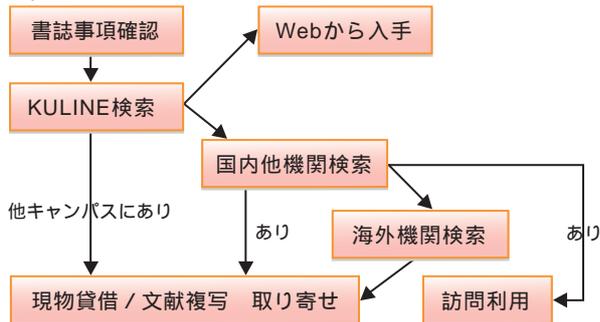
京都大学 MyKULINE

<https://my.kulib.kyoto-u.ac.jp/mylibrary/myliblogin.html>

Web から貸出状況の確認、貸出更新、貸出予約、文献取り寄せの依頼が行えます。

3. 資料の入手 ~ お目当ての資料が近くの図書館・室にないとき ~

スタート!



他の図書館から借り受ける/取り寄せることができます
(学内は他キャンパスからの圖書の取り寄せのみ無料です)。
*申し込む前に書名・著者などの書誌事項を確認して、再検索しましょう(☞p2 検索のコツ)。
*Webからは、フリーで入手可能なものと京大内のみ入手可能なものがあります。
*他大学図書館の訪問利用には紹介状を発行します。事前に訪問先の開館日程を確認後、余裕を持ってお申込み下さい。

RefWorks/EndNote Web

論文執筆に必要な文献をWebで蓄積・管理し、論文リストを簡単に作成して資料の整理が出来ます。

学習室24(附属図書館)やOSL(情報端末エリア。情報環境機構提供)で執筆出来ます。*無線LAN設備や、ノートPC貸出を行っている図書館・室もあります。

<京大で創造された論文を探すには>



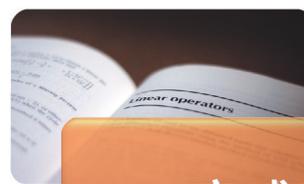
http://repository.kulib.kyoto-u.ac.jp/dspace/
☞ p6 KURENAIコンテンツ紹介



3 資料を入手 / 整理する



4 まとめる / 執筆する



5 完成

2-2: 論文を探すには

論文タイトルや著者で電子リソースを調べましょう。

☞ <http://edb.kulib.kyoto-u.ac.jp/gakunaieij.html>

論文タイトルや著者で調べる時は、KUArticleSearch。複数のデータベースを一度に検索出来るので便利です。

*電子リソースの利用には、ECS-IDX a00... が必要です。
(KUINS提供PPTP接続サービスにより、自宅からもアクセス可能)

*図書館では、資料の探し方やデータベースの使い方などの講習会を開催しています。

☞ http://www.kulib.kyoto-u.ac.jp/modules/support/index.php?content_id=4



ex. 日本語の雑誌論文を探すのに便利なCiNii Articles (11月初旬より名称変更)。
☞ 次号でご紹介します。

さらに便利に使うには



(雑誌論文本文の入手方法を提示する論文リンクツール) 上記ボタンを押すと、「京大ArticleLinkerウィンドウ」が表示され、フルテキスト(京大契約分)フリー・KULINEなどへのリンクが出てきます。

人間・環境学研究科 教授 津田 謹輔

一冊の本という柄にもないことを引き受けて幾分後悔している。私は現在人間・環境学研究科に所属し、また週一度京大病院で糖尿病外来を担当している臨床医でもある。通称人環にはいわゆる理系と文系の先生方がおられるので、物事には様々な視点があることを日々教えられている。また当然であるが、高名な学者のかたや刑務所からでてきた方などいろいろな人と患者さんとして接している。これについて今でもよく思い出す2つの話がある。1つは大学入学式の日の医学部長の挨拶。「臨床では、いろいろな患者さんと接することになる。法律にふれない範囲でいろいろ経験をしなさい」。もう一つは恩師井村裕夫元京大総長がまだ医学部教授だったころ、「寝る前15分は専門書以外の本を読みなさい」。そんなに経験はできなかったけれど、寝る前は、小説、新書やら同僚の先生からいただいた本などを読んでいた。でも基本的には雑学の類である。そのなかで一冊の本といわれると、「平静の心 オスラー博士講演集」（日野原重明、仁木久恵訳 医学書院 1984）をあげたい。これは、学位授与の時、井村先生からお祝いの手紙と一緒にいただいた本で、手紙は今も本の見開きに貼り付けてある。この本は自分にとって宝物である。

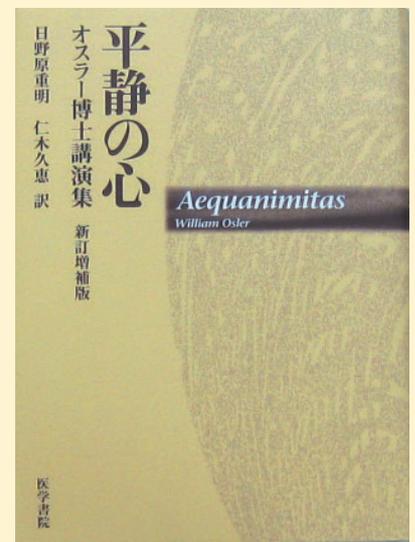
著者は、カナダ生まれのウィリアム・オスラー博士（1849-1919）。40歳でジョンス・ホプキンス大学の医学部創設に関わり、その後オックスフォード大学欽定教授をつとめた。この本は医学・医療・医学教育の分野で、当時の医療職者や医学生の心に強烈なインスピレーションを与え、医療の世界における専門医の生き方を示した。一般人までがこれを愛読したという。この書籍は多くの講演から訳者日野原重明先生が選び抜かれたものである。オスラー先生の講演には、ギリシャ、ローマの古典、聖書、シェイクスピアなど欧米の文学や哲学の理解が必要になることも多く、翻訳にあたって仁木久恵先生の力をかりたそうである。医療は科学（サイエンス）と芸術（アート）であるという有名な言葉は、「古き人文科学と新しき科学」という講演で触れられている。そして、本のタイトル「平静の心」は医師としての心構えのなかで、「たとえ成功しても謙虚な心を持ち、慢心することなく友達の愛情をうけることができ、悲しみの日が訪れたときには人間に相応しい勇気をもって事に当たることができるような、そういう平静の心を養う」ことが涵養である。その他書ききれないほどの教えがある。百年以上昔の講演が今なお輝きを失っていない。若い頃わからなかった事柄が今読み返すと理解できることも多い。医療だけでなく、教育論、人生論である。

また訳者日野原先生は聖路加病院理事長で今年100歳になられ、今なお現役の臨床医として活躍中である。私の研究テーマである生活習慣病という概念を早くから提唱された京大の大先輩である。この日野原先生がいつも尊敬しておられるのがオスラー先生であり、井村先生はこの本を通して著者と訳者の二人の大きな先人を紹介して下さいたものと思う。

この1冊の本は、私にとって、オスラー博士、日野原先生、井村先生から教えを得る道標である。

平静の心

オスラー博士講演集
(新訂増補版)



出版: 医学書院、2003.9
数量: xv, 607p ; 22cm
ISBN: 978-4260127080
附属図書館所蔵
2F 開架 SC 21 へ2

【大型コレクション】 *The Straits Times* の一世紀半

東南アジア研究センター所蔵

東南アジア研究所図書室は、平成20・21年度大型コレクション予算によって、シンガポールで刊行されている英字新聞*The Straits Times*のマイクロフィルムを網羅的に収蔵できるようになった。これにより、京大校内では同紙の閲覧が、1845年から1992年分はマイクロフィルムで、1992年以降はオンラインジャーナルで可能になった。

The Straits Times は、1845年7月15日に*The Straits Times and Singapore Journal of Commerce*として創刊され、現在まで継続している。今日のマレーシア・シンガポール地域で最大の日刊紙であり、東南アジアで最も歴史のある英文総合紙のひとつに数えられる。現在の発行部数は40万部近い。現在マレーシアで刊行されている*New Straits Times*も*The Straits Times*から枝分かれした後続紙である。

創刊者のモーゼス (Catchick Moses) は、イラク生まれのアルメニア人だが、1828年8月、16歳の誕生日直前にシンガポールに移住し、親戚の会社で経験を積んだ後、自ら起業した人物である。1828年といえば、シンガポールがイギリスの植民地になって間もない時期である。シンガポールは、イギリス東インド会社の行政官ラッフルズ (Thomas Raffles) がその地理的重要性を見出し、1819年に当時島を支配していたジョホール王国より商館建設の許可を得て開発を始めた場所である。そして、1824年に英蘭協定によって正式にイギリス植民地となった。その当時の状況は、『アブドゥッラー物語』ⁱに非常に鮮やかに描かれており、ほとんど住人がいない片田舎からシンガポールが発展していく過程が目に見えようである。

シンガポール初期の歴史と歩みをともした一人であるモーゼス以降、*The Straits Times*は幾人かの所有者の手を経て、20世紀初頭には発行部数を5000部へと伸ばしたⁱⁱ。戦前はイギリス人を対象としていたが、戦後は、マレーシアならびにシンガポールが独立し国民国家を形成していく中で、新たな役割を担い、今日にいたる。一世紀半におよぶ通時的な記録である*The Straits Times*は、東南アジア研究のみならずさまざまな分野の研究や興味を満たしてくれる資料であることは間違いない。マイクロフィルムの閲覧は、事前予約があれば学内外の利用者によって閲覧可能である。多くの利用者に、さまざまな目的で利用して頂ければ幸いである。

(利用方法は、東南アジア研究所図書室HP参照
URL: <http://www.cseas.kyoto-u.ac.jp/library/>)



【創刊号タイトル部分】



【1942年1月28日版。日本軍艦沈没に関するニュースが一面を飾る。同年2月15日より日本が占領し、シンガポールは昭南島に改名される】



【1965年8月10日版。シンガポールがマレー連邦を脱退し、独立したニュース】

ⁱ アブドゥッラー・ビン・アブドゥル・カディール. 1980. 『アブドゥッラー物語: あるマレー人の自伝』中原道子訳. 東京:平凡社.
ⁱⁱ 伊賀司 2010. 『経済・政治開放期のマレーシアにおけるメディアと政治 — オルタナティブ・メディアを通じたメディアの自由化』神戸大学大学院博士論文.

KURENAIコンテンツ紹介

2011年9月の台風12号は、西日本各地に大きな爪痕をのこしました。この台風による被害を受けた地方自治体のひとつ、奈良県十津川村は、今から122年前の1889(明治22)年にも豪雨による土砂災害にみまわれ、被災住民の一部が北海道(現在の新十津川町)に移住するという社会的変動も生じました。

KURENAIでは、この明治22年の十津川村豪雨災害を分析した論文『1889年8月豪雨による十津川災害の再検討 とくに大規模崩壊の地質構造規制について』を公開しています。今回は執筆者の一人である元防災研究所准教授・諏訪浩先生に、内容をご紹介します。



平野昌繁, 諏訪浩, 石井孝行, 藤田崇, 後町幸雄. “1889年8月豪雨による十津川災害の再検討 とくに大規模崩壊の地質構造規制について”, 京大防災研年報, 第27号 B-1. 1984. pp.369-386

<http://hdl.handle.net/2433/70635>

こちらからご覧ください

執筆者による内容紹介

本年8月25日に発生した12号台風はゆっくり北上して高知県東部に上陸, 9月4日に鳥取県東部から日本海へと抜けた。その間, 関東以西の広い範囲で長時間にわたり大雨となった。そのため紀伊半島南部の山地では地下深くの岩盤まで含めて崩れる, いわゆる深層崩壊が多発した。このタイプの崩壊は規模が大きいため, 土砂が足もとの川筋を堰き止める。こうして17箇所に堰き止めダムができ, うち5箇所では大雨があるとダムが決壊して土石流が起こる恐れがあったので, その状況に人々の関心が集まった。今は決壊を抑えるための工事が進められている(2011年10月17日現在)。

十津川村は122年前に今回を遙かに上回る規模の豪雨災害に見舞われている。53箇所にできた堰き止めダムが次々決壊して被害は遠く新宮にまで及び, 紀州田辺での被害も合わせると, 死者は1,546名を数えた。十津川村の被災住民の一部2,489名が北海道への移住を決し, 幾多の困難を経て現在の新十津川町をつくることになったことは広く知られている。宇智吉野郡役所により2年後に刊行された全11巻からなる災害調査報告書『明治廿二年吉野郡水災誌』は, 被災の様子から救援, 北海道移住に至るまでを詳述する極めてすぐれた記録である。

この水災誌を手がかりに, 現地調査や資料収集をおこなって, 崩壊の原因と特徴を明らかにしたのが, この1984年の論文である。気象観測黎明期の資料を探しあてたりしながら, 豪雨が今回と同じコースを北上する鈍足台風によるものであったこと, 深層崩壊は, 西南日本外帯と呼ばれる, 中央構造線より南側の大地の形成過程の影響を強く受けて起きたことなどを明らかにした。共同研究はその後にも継続されていて, 成果は, たとえば防災研究所共同研究15G-06報告書『1889年十津川崩壊災害の防災科学的総合研究』(2005)にとりまとめられている(KURENAIで公開。<<http://hdl.handle.net/2433/147968>>)。

2月に明治憲法が公布されて我が国が近代国家への道を歩み始めたまさにその年に, 明治の災害は起きた。3月の大震災と, そのとき始まった原発事故災害を契機として, 我々の生き方と社会のあり方が根本から問い直されようとしている,まさにこの年に, 今回の12号台風豪雨災害は起きた。運命的な符合を感じざるを得ない。
(もと京都大学 准教授 諏訪 浩(防災研究所))



“KURENAI 紅”は「京都大学学術情報リポジトリ」のことです。リポジトリとは「保存庫」という意味で、京都大学の博士論文や先生方が書かれた論文、紀要などを収録して、webで世界中からアクセスできるようにしたデータベースです。

<http://repository.kulib.kyoto-u.ac.jp/dspace/>

京都大学学術情報リポジトリ
KURENAI 紅
Kyoto University Research Information Repository



< 図書館・室紹介 >

原子炉実験所図書室

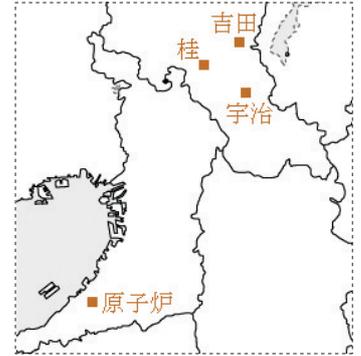
Research Reactor Institute Library



原子炉実験所には教員77名、職員93名、研究員4名、学生65名が所属しており、日夜研究に勤しんでいます。研究内容は原子炉の特性についてのほか、放射線が環境・生体に及ぼす影響、物質の構造と機能の解明、がん治療など、核エネルギーと放射線の利用に関連して多岐に渡っています。

それに応じて本図書室では、数学・物理学・化学・地球科学・生物学・医学・工学など、様々な分野の資料を所蔵しています。蔵書数は52,229冊と、主要3キャンパスと比較するとかなり小規模ですが、他館・室からの資料デリバリーを駆使して見劣りしないサービスを心がけています（他部局への貸出もしています）。主な利用者は所員ですが、その他実験のため来所した学外の研究者や、一般の方からもご利用があります。

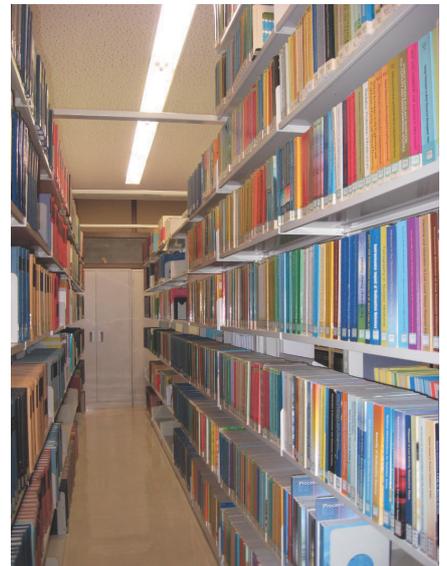
吉田キャンパスから直線距離で約80km、公共交通機関を利用して2時間半かかります。



写真は閲覧室。新着雑誌を1週間展示しています。



現在1,053種の雑誌を所蔵しており、8割以上が外国語雑誌です。なかには全国でも珍しい雑誌もあり、学外からもご利用いただいています。



特殊コレクションとして、IAEA*（国際原子力機関）が出版している書籍を網羅的に収集しています。古くは1959年刊行のものから、現在では2,500冊以上を所蔵しています。（* IAEAは1957年に設立された。）

IAEAコーナーの様子。2010年に書架を増設しました。

愛嬌たっぷりの掛員がみなさまをお迎えます！



お問い合わせ

〒590-0494 大阪府泉南郡熊取町朝代西2丁目

TEL : 072-451-2311 FAX : 072-451-2601

E-Mail : lib@rri.kyoto-u.ac.jp

Web : <http://www.rri.kyoto-u.ac.jp/library/index.html>

アクセス

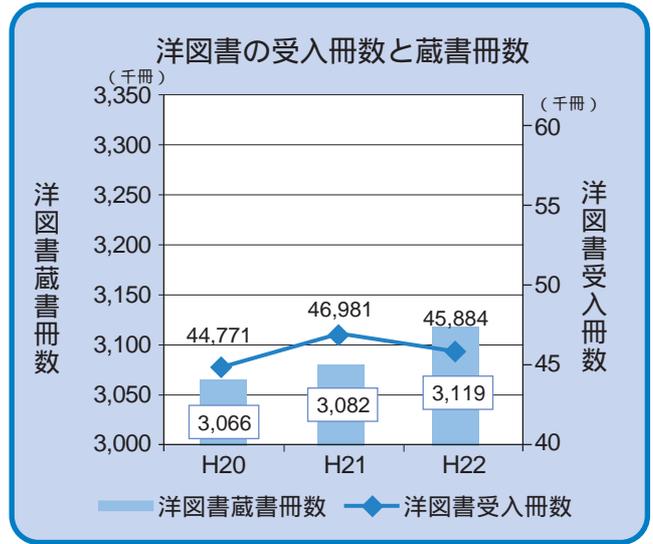
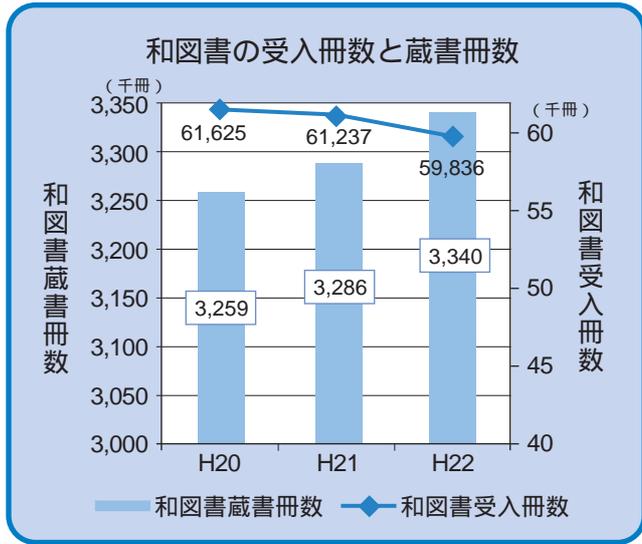
・JR阪和線「熊取駅」から徒歩30分

・南海ウイングバス「原子力研究所前」降車すぐ

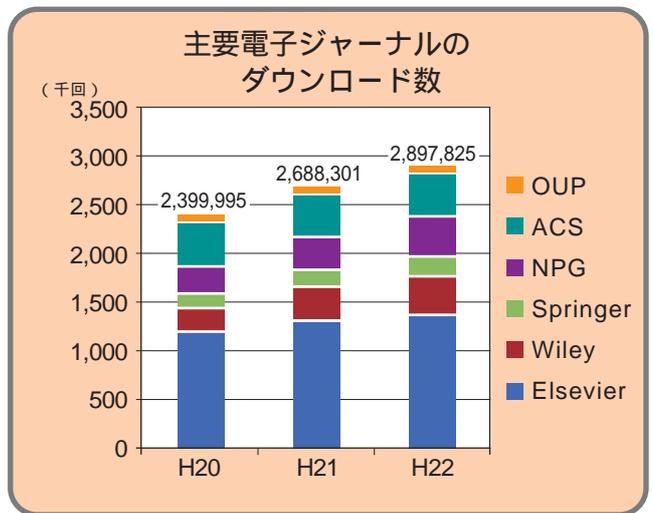
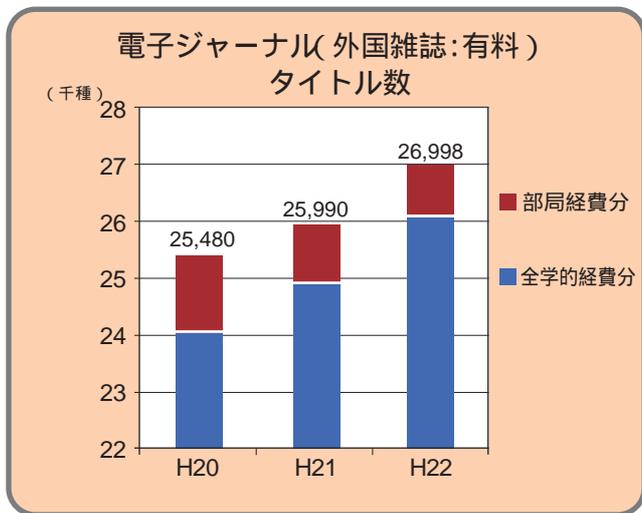
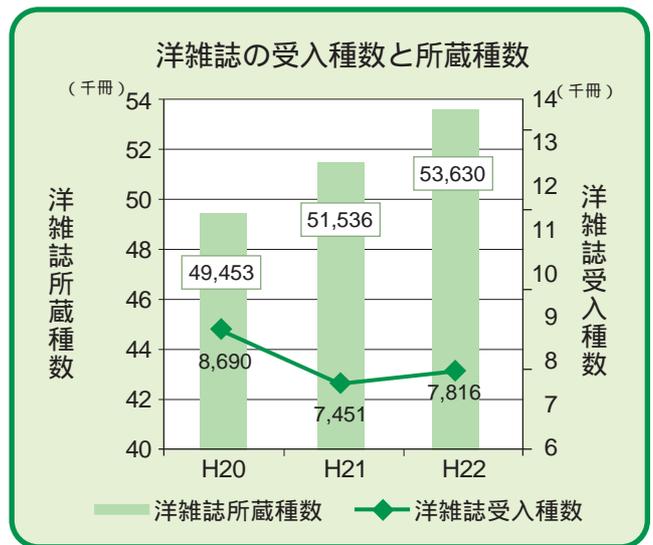
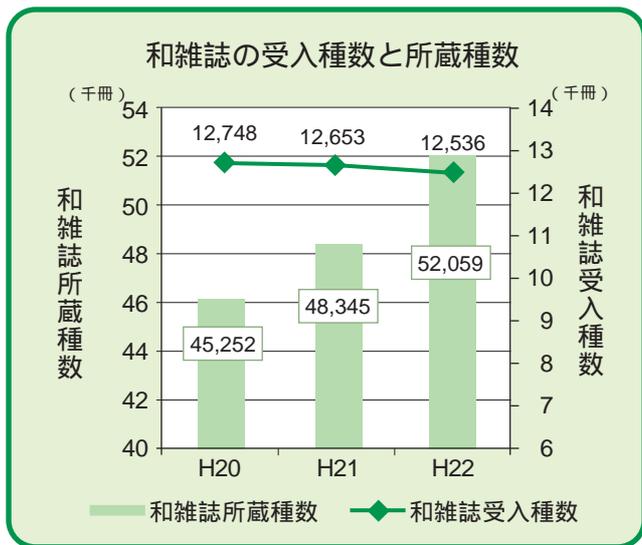
<http://www.rri.kyoto-u.ac.jp/index/access.html>

*データは2011年10月1日現在のものです。

京都大学図書館統計



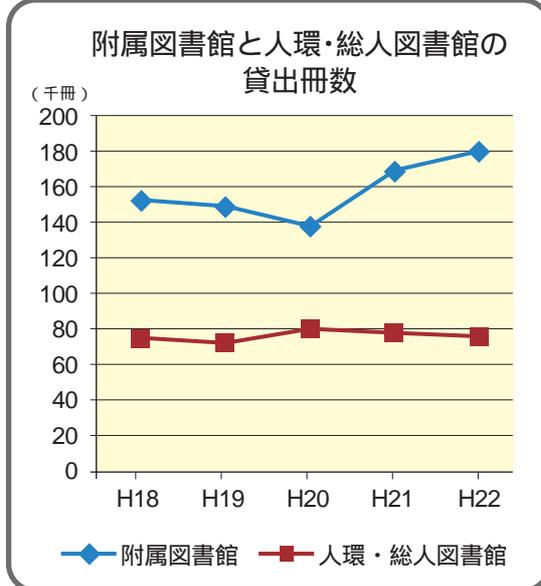
和図書の受入冊数はおおむね6万冊前後、洋図書の受入冊数は4万5千冊前後で増減しています。なお、蔵書冊数にはその年の受入冊数に加えて除却数が反映されています。



電子ジャーナルは利用可能なタイトルが増加し、利用も年々伸びています。

主な図書館・室の貸出冊数

貸出冊数	H18	H19	H20	H21	H22
附属図書館	152,790	149,218	138,089	168,880	179,677
文学研究科	76,213	76,330	77,388	77,949	74,569
教育学研究科	20,726	15,477	14,112	9,012	10,639
法学研究科	15,999	17,398	19,569	18,269	15,682
経済学研究科	22,334	20,391	21,378	7,766	14,728
理学研究科	25,412	33,439	24,635	27,137	25,335
医学研究科	12,560	10,481	10,602	11,063	9,036
薬学研究科	1,347	1,736	1,873	1,704	1,609
工学研究科	17,442	16,618	16,806	15,903	15,114
農学研究科	11,174	6,131	10,543	11,419	9,817
人間・環境学研究科	75,259	73,069	80,512	78,232	76,582
合計	431,256	420,288	415,507	427,334	432,788
全学合計	475,259	462,062	449,891	460,229	469,031



* 赤字はその年に耐震・改修工事などがあったことを示す。

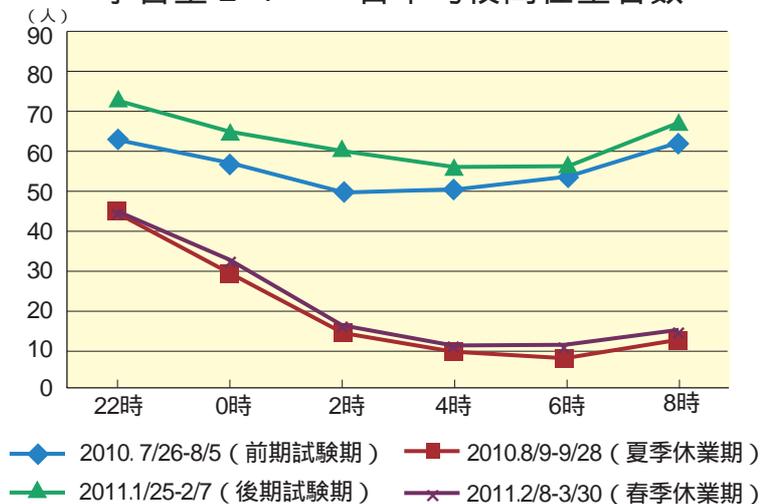
附属図書館の貸出冊数が近年上昇傾向にあります。それぞれの図書館・室によって借りられる期間や冊数、開館日数が異なります。工学研究科・理学研究科は各専攻図書室の合計数です。また、他にも多くの研究所やセンターの図書室があります。

夜間でも学習室24が利用されていることがわかります。学習室24には合計132席が設けられていますが、特に試験期には夜間でも3分の1以上の席が利用されています。

学習室24 利用者数



学習室24 一日平均夜間在室者数



平成22年度統計

部局名	新規受入冊数			蔵書冊数			目録情報入力冊数		
	和書	洋書	計	和書	洋書	計	和書	洋書	計
附属図書館	11,552	3,041	14,593	614,537	254,781	869,318	462,465	205,616	668,081
附属図書館宇治分館	478	879	1,357	12,387	55,446	67,833	10,612	39,822	50,434
文学研究科	12,114	5,869	17,983	632,912	406,792	1,039,704	420,244	390,770	811,014
教育学研究科	2,810	917	3,727	94,149	66,686	160,835	90,664	62,259	152,923
法学研究科	4,199	4,741	8,940	299,081	386,256	685,337	227,203	289,008	516,211
経済学研究科	5,805	2,537	8,342	279,507	254,416	533,923	256,452	234,463	490,915
理学研究科	1,636	3,883	5,519	45,966	189,578	235,544	37,280	163,200	200,480
医学研究科	1,635	1,345	2,980	90,168	153,570	243,738	83,831	140,229	224,060
薬学研究科	365	88	453	11,424	26,989	38,413	11,272	26,355	37,627
工学研究科	2,292	1,834	4,126	140,478	207,093	347,571	121,961	170,111	292,072
農学研究科	1,752	783	2,535	144,282	126,183	270,465	97,726	80,233	177,959
人間・環境学研究科	7,208	3,526	10,734	307,442	267,497	574,939	285,840	230,523	516,363
エネルギー科学研究科	65	43	108	4,370	5,120	9,490	4,305	5,127	9,432
アジア・アフリカ地域研究科	484	3,944	4,428	13,431	87,994	101,425	13,172	87,434	100,606
情報学研究科	820	804	1,624	17,333	55,145	72,478	16,674	54,609	71,283
生命科学研究科	0	0	0	54	60	114	30	55	85
地球環境学堂	410	311	721	2,543	2,165	4,708	2,544	2,164	4,708
公共政策大学院	121	31	152	1,040	194	1,234	1,040	194	1,234
経営管理大学院	171	70	241	1,114	401	1,515	1,114	401	1,515
人文科学研究所	4,344	1,008	5,352	492,167	86,655	578,822	223,974	80,801	304,775
再生医科学研究所	0	88	88	442	4,634	5,076	84	783	867
ウイルス研究所	0	19	19	305	3,326	3,631	297	2,776	3,073
経済研究所	215	1,041	1,256	40,888	38,662	79,550	40,888	38,662	79,550
基礎物理学研究所	201	1,489	1,690	9,472	86,232	95,704	6,850	76,949	83,799
数理解析研究所	133	1,606	1,739	7,327	83,871	91,198	7,070	80,439	87,509
原子炉実験所	275	723	998	15,011	37,012	52,023	15,005	36,872	51,877
霊長類研究所	170	329	499	7,575	17,523	25,098	7,536	17,558	25,094
東南アジア研究所	548	5,256	5,804	27,791	146,789	174,580	24,745	114,417	139,162
放射性同位元素総合センター	17	9	26	169	62	231	169	62	231
環境保全センター	15	87	102	628	1,466	2,094	265	1,439	1,704
国際交流センター	35	27	62	40	27	67	35	27	62
高等教育研究開発推進センター	54	2	56	2,606	1,016	3,622	2,601	1,015	3,616
フィールド科学教育研究センター	125	34	159	14,012	8,584	22,596	6,469	5,086	11,555
放射線生物研究センター	8	0	8	510	2,036	2,546	448	2,080	2,528
生態学研究センター	97	209	306	8,765	6,359	15,124	8,737	6,371	15,108
学術情報メディアセンター	1	5	6	5,932	12,720	18,652	3,869	7,562	11,431
こころの未来研究センター	10	8	18	124	170	294	103	170	273
野生動物研究センター	0	0	0	41	0	41	41	0	41
保健管理センター	0	0	0	7	15	22	0	0	0
医学人間健康科学系									
大学文書館	0	0	0	696	0	696	696	0	696
地域研究総合情報センター	355	573	928	406	41,404	41,810	5,068	21,877	26,945
研究・国際部	0	0	0	606	47	653	606	47	653
計	60,520	47,159	107,679	3,347,738	3,124,976	6,472,714	2,499,985	2,677,566	5,177,551
目録情報入力冊数割合							75%	86%	80%

(注) 附属図書館宇治分館は、化学研究所・エネルギー理工学研究所・生存圏研究所・防災研究所の蔵書数等を含めた数。
 医学人間健康科学系の受入冊数・蔵書冊数・目録情報入力冊数は医学研究科に含まれる。
 目録情報入力冊数割合の数値は小数点第1位を四捨五入したもの。

部局名	受入 雑誌種数	うち購入和 雑誌種数	うち購入外 国雑誌種数	開館日数	入館者数	貸出冊数	相互利用			
							現物借用	複写取寄せ	現物貸出	複写提供
附属図書館	2,038	333	480	339	959,442	179,677	1,008	3,212	1,391	4,155
附属図書館宇治分館	352	74	203	230	17,000	1,611	451	349	196	547
文学研究科	3,277	194	784	224		74,569	100	262	483	1,440
教育学研究科	954	145	199	229	20,408	10,639	34	74	101	403
法学研究科	1,143	182	499	263		15,682				
経済学研究科	1,145	109	234	236	38,840	14,728	11	33		
理学研究科	1,995	113	394	235	65,198	25,335	69	376	57	157
医学研究科	707	80	225	290	73,692	9,036	57	1,621	39	3,997
薬学研究科	30	10		239	20,552	1,609	1	103		430
工学研究科	1,083	420	189	242	21,244	15,114	623	488	23	333
農学研究科	1,922	390	226	240	64,687	9,817	29	383	33	569
人間・環境学研究科	866	230	175	263	218,859	76,582	611	1,622	440	382
エネルギー科学研究科	78	16	11	240	2,932	479	5	25		
アジア・アフリカ地域研究研究科	155	13	62	215	1,043	2,063	199	135	114	39
情報学研究科	117	31	68	240	2,947	4,524	10	28	1	20
生命科学研究所										
地球環境学堂	48	18	30	238	1,190	757	145	331	39	4
公共政策大学院										
経営管理大学院										
人文科学研究所	1,431	59	341	212	5,177	4,371	161	90		547
再生医科学研究所	24	2	22	242						
ウイルス研究所	5	2	3							
経済研究所	1,085	144	248	229	991	1,788	1		24	38
基礎物理学研究所	137	17	76	242	1,429	2,165		1	15	105
数理解析研究所	608	25	370	214		1,539		4	13	112
原子炉実験所	124	35	18	241	1,697	319	96	123	24	110
霊長類研究所	50	7	18	242		423	15	70		113
東南アジア研究所	182	3	46	225	1,718	2,206	64	16	99	43
放射性同位元素総合センター										
環境保全センター										
国際交流センター										
高等教育研究開発推進センター										
フィールド科学教育研究センター	521	58	24	225	1,312	748		6		
放射線生物研究センター										
生態学研究センター		3	16	209		258	5	50	2	
学術情報メディアセンター	97	17	37	243		3,905				25
こころの未来研究センター										
野生動物研究センター										
保健管理センター										
医学人間健康科学系	165	39	25	220		8,962				
大学文書館										
地域研究統合情報センター	13			237	200	125		1	25	7
研究・国際部										
計					1,520,558	469,031	3,695	9,403	3,119	13,576

京都大学図書館統計の図書・雑誌の受入数、及び平成22年度統計の受入雑誌数～相互利用までの数値は図書館調査票による。

目録情報入力された資料はKULINEで検索することができます。

学部・学科、研究施設等ごとに図書館・室が設けられており、それぞれに特色ある蔵書を有しています。

2010年にはウイルス研究所で耐震工事が行われましたので、開館日数等に関する項目は空値です。

なお、その他の空値のところは、サービスを行っていない、図書館・室がない等の理由によります。



【改善しました】 書庫床に非常口案内サイン

平成23年7月、農学部図書室書庫の床面に、非常口への誘導サインが装備されました。今年3月11日に起こった東日本大震災での甚大な被害状況を重く受け止め、避難経路の確保を少しでも容易にできればと考えたものです。火災等で煙が発生した際、上方にある「非常口」の案内は見えにくくなることを想定して、床に装備しました。

農学部図書室書庫（地下）の非常口は、通常、利用者や職員の視界に入らない位置にあることから、「床のサインを辿っていけばそこに非常口がある」という安心感がいかに大きいものか、それが装備された後に改めて感じています。また、サインは蓄光性で、停電時でも光って人を誘導してくれます。

この他に、階段の各両端に同じく蓄光性のテープを貼りました。これは、暗い状況で階段を利用する際、段の幅が判り、転倒しにくいようにするためです。

「無い」と目に見えて不便というわけではないけれど、「有る」とやっぱりありがたい、というものは、それが「無い」状態では案外意識しにくいものだろうと思います。

図書室の中にまだまだ課題は多く残されていますが、今回の震災を教訓とし、突然の災害からまずは人命を守る工夫をしていきたいと思っています。

（農学研究科図書室）



（暗闇でも・・・）

講演会・展示会の報告



京都大学図書館機構平成23年度第1回講演会

「図書館は学生の現在(いま)にどう応えるか？ 変わりゆく「学び」と大学図書館」

日時：2011年10月11日(火)13:30～16:50

場所：京都大学附属図書館3階 ライブラリーホール

講演者：溝上 慎一氏(京都大学高等教育研究開発推進センター 准教授)

講演者：竹内 比呂也氏(千葉大学文学部 教授/附属図書館長、アカデミック・リンク・センター長)

講演会資料は下記よりご覧いただけます。

<http://hdl.handle.net/2433/147322>

附属図書館貴重書展「山村才助と菊池三溪」

期間：平成23年11月18日(金)～11月24日(木)

主な展示資料

H21貴重書指定：「夢遊漫筆」(山村才助自筆本)

H22貴重書指定：「学聚堂叢書」；「近世古文所見集」(以上2点菊池三溪自筆本)；「レットル・コンスト」

貴重書展資料は下記よりご覧いただけます。

<http://edb.kulib.kyoto-u.ac.jp/tenjikai/index.html>

